

2026 入試 龍谷大学付属平安高等学校
入試にむけてのアドバイス

一高校受験編一

【英語】

マークシート形式中学卒業「標準レベル」の総合問題で、以下の分野について出題します。

- ①. 「音声」から必要な情報を収集し、何が問われているのかを正確に聴き取る能力
- ②. 中学3年間を通して学んできた「語彙」・「熟語」・「文法」の知識および応用力
- ③. ②の知識を使って、まとまった文章から「場面」「状況」をイメージし、必要な「情報」を読み取る能力

●英検3級受験用の問題集

入試問題は、形式もレベルも、実用英語技能検定3級の設問とよく似ています。
もうすでに3級を取得している受験生のみなさんでも、「満点」で合格したと言い切れる人はいますか？問題集を2回目、3回目と繰り返し解答する価値はあると思います。

●受験するにあたって

50分の試験時間の内、最初のおよそ10分間はリスニングテストを行いますので、「残りの40分」で文法（文法）、リーディング（長文読解）問題を解き切る「スピード」が求められます。各設問の配置、問いの数に変更はありませんので、過去に出題された入試問題を実際に手にして、「問題形式」「時間配分」を想定して慣れておくとい良いでしょう。

※龍谷大平安ホームページから「過去問・解答」が入手できます。

●入学後の活動を見据えて

龍谷大平安高校では、英語の授業で「コミュニケーション活動」を多く取り入れています。今必要な知識を「定着」⇒「運用」⇒「応用」へとつないでゆくためにも「音読」の効果は絶大です。教科書をはじめ、問題集、単語帳などに取り組む際にも「音源CD」等があるのであれば、ぜひ利用して「声」に出してみましょう。実際に話しているかのように、人前で発表しているかのように、また発音をテストされているかのように、スラスラと言えるようになるまで繰り返しトレーニングをしましょう。

2026 入試 龍谷大学付属平安高等学校 入試にむけてのアドバイス

一高校受験編一

【国語】

総合的学力を試す出題です。大問は3題あり、説明的文章（評論文など）、文学的文章（小説・随筆など）、国語常識です。

①説明的文章からの出題について、文脈に沿った論旨・筆者の主張を正しく理解できていることが求められます。説明的文章の問題を解く上で必要な力は「読解する力」です。普段からたくさん文章に触れることで身につく力です。新聞の社説やコラムなど、筆者の言いたいことは何かを考えながら読む習慣をつけることも大切です。

②文学的文章からの出題について、登場人物の心情の移り変わり、表現上の特色などに関わる設問が中心となります。文学的文章の問題を解く上で必要なことは、登場人物の心情や場面、情景などを客観的に読み取る力が大切です。これらのことを意識しながら、さまざまな文章を読んでみましょう。「読むのは苦手」という人は、短い文章から触れていき、慣れてきたら長い文章にも挑戦してみましょう。

③これまで出題していた古文読解を、「国語常識」に変更します。漢字や文法、古典常識など幅広く問います。問題集などを活用し、しっかりと知識を身につけておきましょう。

【数学】

解答形式はすべてマーク式ですが、解答を数字で答える問題と解答を選択する問題を
出題します。

計算から文章題まで全範囲から出題します。各分野で基礎を活用する力がついているかを試す問題です。“易しくはないが、難しくもない”レベルの問題が大多数を占めています。中学数学の基本事項がきちんと理解できていれば、正解を導き出すことができます。放物線と直線に関する問題は、ほぼ毎年出題されていますので要注意です。また、思考力・読解力を測る問題を1題出題します。第1問の小問10題でどれだけ点数を取れるかがポイントになります。本校の過去問をしっかりと解き、標準的な問題集で基本事項の理解と応用力を養って下さい。

2026 入試 龍谷大学付属平安高等学校
入試にむけてのアドバイス

一高校受験編一

【社会】

地理・歴史・公民の複合問題です。すべての問題においてマークシートの回答を取り入れています。出題傾向は前年と変わりません。前年までの過去問をしっかりと解いておいてください。教科書を丹念に読むことをおすすめします。その際、「なぜそうなったのか」「この結果どうなったのか」ということに注意しておきましょう。また、時事問題も出題します。世の中で大きく取り上げられている問題にアンテナを張っておきましょう。

【理科】

入試問題は、例年、物理・化学・生物・地学からそれぞれ大問1題ずつ、合計大問4題の構成です。

物理：教科書をベースに、法則、計算、図表を理解しているかを問います。また、用語を覚えるだけでなく、内容の理解を深めているかも問います。

化学：教科書をベースに、基本的な事柄について問います。特に、教科書に出ている実験を題材に物質の性質や変化を問います。

生物：教科書をベースに、複数の分野に渡って関連する内容を問います。生物や生態系についての時事的な話題もチェックしておいてください。また、実験に関する問題文を読み、考察する力もつけておきましょう。

地学：教科書をベースに、基本的な事柄及び教科書の内容が理解できているかを問います。また、応用力や考察力も問います。

教科書を中心に勉強し、文章や図表から結果を読み取り、考察する力もつけておきましょう。